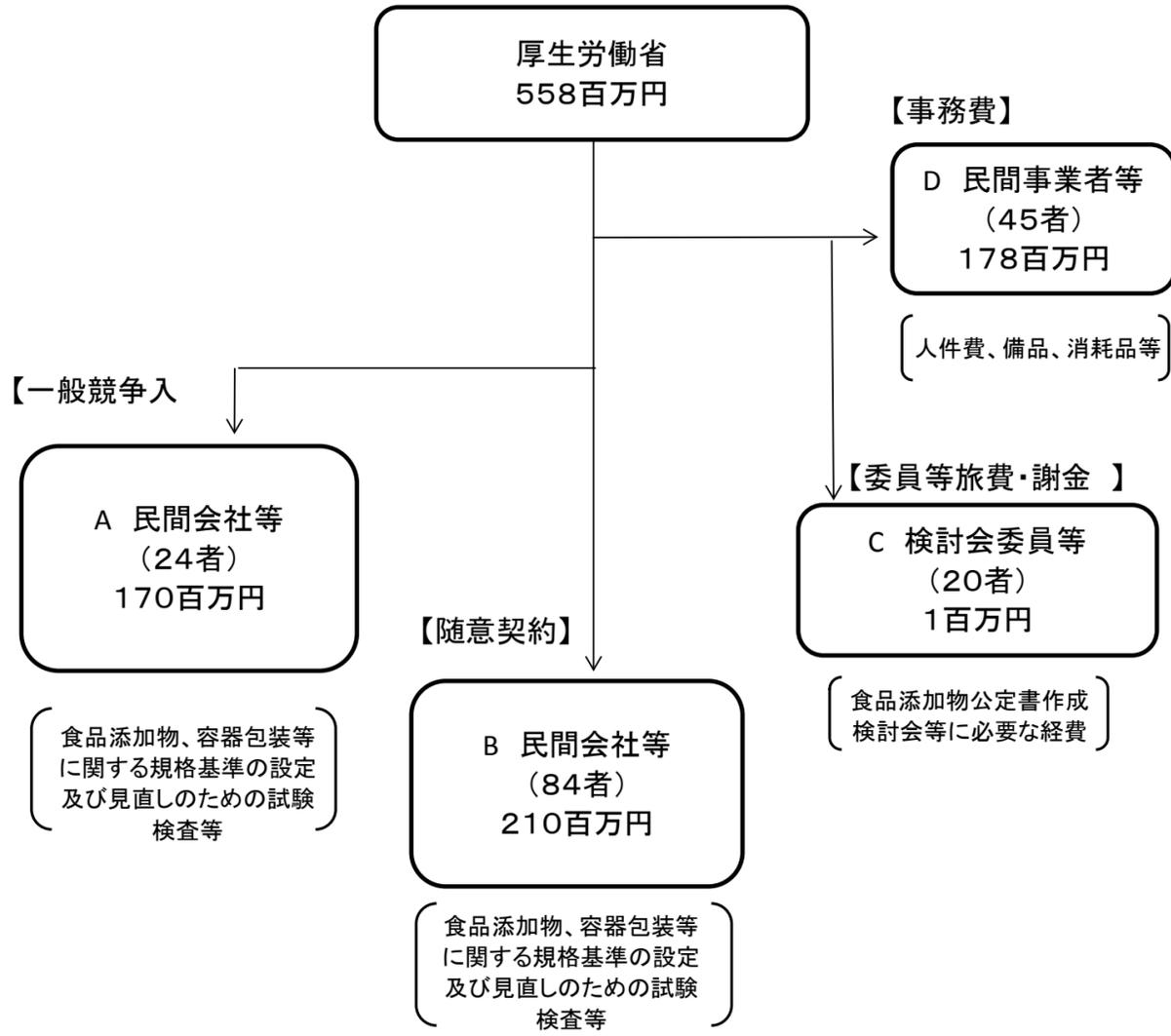


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	食品添加物、食品用器具・容器包装等の安全性確認の計画推進事業		担当部局	食品安全部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	基準審査課		森口 裕	
会計区分	一般会計		施策名	IV-4-1 食品等の安全性を確保する			
根拠法令(具体的な条項も記載)	食品衛生法第10条、11条(添加物)、食品衛生法第18条、62条、食品安全基本法第24条(食品用器具・容器包装)		関係する計画、通知等	—			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	最新の科学的知見により、食品添加物等の規格を整備するとともに食品及び食品用器具・容器への化学物質の使用基準を設定・検証することにより食品の安全性を確保する。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	食品添加物等の規格基準の設定・再評価のため、バイオテクノロジーの進歩を踏まえた化学物質の分析試験を実施し、使用及び流通実態の調査結果と併せ曝露量を推定し、制度設計を検討する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	932	886	688	623	567
		補正予算					
		繰越し等					
		計	932	886	688	623	567
		執行額	704	781	558		
	執行率(%)	75.5	88.1	81.1%			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	○新規添加物の成分規格設定数	成果実績		5	20	10	—
		達成度	%	—	—	—	
	○一日摂取量調査を行った食品添加物数	成果実績		21	21	6	—
		達成度	%	—	—	—	
	○指定添加物等の変異毒性試験の実施数	成果実績		16	41	33	—
達成度		%	—	—	—		
○指定添加物等の反復投与毒性試験の実施数	成果実績		7	8	18	—	
	達成度	%	—	—	—		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	○食品添加物の新規指定数	活動実績(当初見込み)		5	20	10	—
○既存添加物の安全性評価数			6	5	1	—	
				( — )	( — )	( — )	
単位当たりコスト	7,158(千円/1添加物指定・評価数)		算出根拠	(事業執行額)÷(アウトカム・アウトプット数) 558,294千円÷(10+6+33+18+10+1)=7,158千円			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.2	0.3	科学的知見の集積等を踏まえた事業の見直しによる減額			
	職員旅費	1.8	1.8				
	委員等旅費	0.4	0.7				
	庁費	1.9	1.4				
	食品等試験検査費	618.9	562.8				
	計	623	567				

事業所管部局による点検			
評価	項目		
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	食品添加物は現代の食生活に必要不可欠なものであり、また食品用容器包装等に使用される化学物質の中には人体への有毒性が懸念されているものもある。国民の食の安全に関する不安感が高まっている中、これらのリスク管理を行うために実施する本事業は、国民のニーズが高く、優先度も高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	食品衛生法に基づき国が基準の設定等を行うのに必要なデータの収集や設定した基準を継続的に検証する本事業は、国が実施すべきものである。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	入札により、当初予定していた予算額以下で実施した調査等があった。
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の一部に随意契約がある。しかしながら、専門的技術を有し、着実に試験が実施できる機関である。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	一つの試験にかかるコストはある程度決まっており、大幅な削減は不可能であるが、試薬を一括購入する等によりコスト削減に努めている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	本事業は添加物等の安全性試験及び新規指定などに必要な経費に限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	最新の科学的知見に基づき試験等を実施しており、実効性の高い手段となっている。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	添加物の指定までに要する期間は各々の品目により異なるため、あらかじめ見込みを立てることは困難だが、優先度の高いものから着実に実施している。
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	-
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	安全性の評価や一日摂取量調査については、その結果をホームページで公表している。
点検結果	<p>本事業に基づく調査結果は、規制対象物質に対し規格基準を設定するにあたり重要なデータとなるため、コーデックス委員会等の国際会議及び薬事・食品衛生審議会の審議において公表される事が前提となっており、適正な内容であるよう努めているところである。</p> <p>なお、添加物毒性試験等に必要な遺伝子組換え動物の飼育業務等、極めて特殊な技能を要する随意契約案件については、本省公共調達委員会の審査を経て契約を行っているところであり、また事業終了後、その使途についても適正な把握に努めている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>本事業は、食品の安全性確保のため、食品添加物の規格基準の設定・再評価等に必要な経費であるが、不用が生じいることを踏まえ、事業計画の改善を検討し、予算措置の効率化を図ること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>食品添加物、食品用器具・容器包装等の安全確保のための分析試験検査等について、知見の集積状況を踏まえ品目数等を見直したことにより削減を図った。(反映額: ▲56百万円)</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>平成21年度会計検査院決算検査報告 「不当事項」(113) 添加物の安全性に関する試験及び報告書の作成の業務に係る請負契約において、契約が履行期間内に履行されていないのに履行されたとする事実と異なる内容の関係書類を作成するなどの不適正な会計経理を行い、代金を支払っていたもの。 (略) このような事態が生じていたのは、研究所において、会計法令等を遵守することなどの基本的な会計経理を適正に行う意識が欠如していたこと、厚生労働本省において、研究所に対して、予算の執行に当たり会計法令等の遵守することなどの指導が十分でなかったことなどによると認められる。</p> <p>→国立医薬品食品衛生研究所における検査を徹底するとともに、厚生労働本省においても平成19年度以降については、行政効率化推進計画等の取り組みの中で、平成18年6月に「随意契約の見直し計画」が策定されたことに伴い、契約のあり方を見直したことから、本省において一般競争契約を実施し分析法検討に関する契約を導入しており、適切な処理が行われるよう既に改善が図られているもの。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0328	平成23年行政事業レビュー	0298

※平成23年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単位:  
百万円)

費目・用途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費目と用途の双方 で実情が分かるように記載）	A. (株)バイオテック・ラボ			E.			
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
	備品費	飛行時間型質量分析計 (Xevo G2 Tof) 1式		15	—	—	—
		平成24年3月分 DNAマイクロアレイ 10点		9			
		超高压液体クロマトグラフ 1式		7			
		平成23年度 DNAマイクロアレイ解析システム 保守 一式 一カ年		5			
		自動核酸抽出装置 1式		2			
		超低温フリーザー 1式		2			
		平成24年3月分 試験管内cDNA合成キット~ 2点		1			
	計		41	計		0	
	B. (財)食品農医薬品安全性評価センター			F.			
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
雑役務費	デヒドロ酢酸ナトリウムに関する慢性毒性・発がん性併合試験 一式		23	—	—	—	
	指定添加物の安全性に関する試験 (ビスベンチアミンに関する90日間反ドクダミ抽出物に関する慢性毒性・発がん性併合試験一式)		4				
	指定添加物等の安全性に関する試験(コックト試験) 一式		3				
			3				
計		33	計		0		
	C. 100万円以上支出者該当なし			G.			
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
	—	—	—	—	—	—	
計			0	計		0	
	D. 東京電力(株)			H.			
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
需要費	電気料		49	—	—	—	
計			49	計		0	

支出先上位10者リスト

A. 一般競争入札

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)バイオテック・ラボ	飛行時間型質量分析計 (Xevo G2 Tof) 1式	15	2	99.30%
2	ダイオテック東京(株)	イオンクロマトグラフ (日本ダイオネクス株式会社製 ICS-5000) 1式	14	3	96.40%
3	(公財)法人日本食品化学研究振興財団	国際的に汎用されている添加物等の指定に向けた調査研究等	12	1	96.70%
4	(株)バイオテック・ラボ	平成24年3月分 DNAマイクロアレイ 10点	9	3	90.10%
5	(株)バイオテック・ラボ	超高压液体クロマトグラフ 1式	7	2	86.30%
6	(一財)化学物質評価研究機構	アクリロニトリル及び1,3-ブタジエン等の有害性に関する地検等の調査及び毒性プロファイル作成等	6	2	56.20%
7	オリンパスメディカルサイエンス販売(株)	システム生物顕微鏡 5式	6	3	98.90%
8	ワールドインテリジェンスパートナーズジャパン株式会社	欧米諸国等におけるレンネットに関する調査	6	5	30.00%
9	片山化学工業(株)	高速液体クロマトグラフ(各種検出器付き) 1式	6	3	99.90%
10	片山化学工業(株)	高速液体クロマトグラフ(各種検出器付き) 1式	5	3	99.90%

B. 随意契約

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)食品農薬医薬品安全性評価センター	デヒドロ酢酸ナトリウムに関する慢性毒性・発がん性併合試験 1式	23	随意契約	
2	(財)食品薬品安全センター-秦野研究所	指定添加物の安全性に関する試験(トランスジェニックマウス突然変異試験) 1式	9	随意契約	
3	(株)SRD生物センター	指定添加物等の安全性に関する試験(アセトフェノン外5物~染色体異常試験) 1式	6	随意契約	
4	(株)SRD生物センター	指定添加物等の安全性に関する試験(亜鉛塩類外5物質~染色体異常試験) 1式	6	随意契約	
5	(株)ボゾリサーチセンター	指定添加物~試験(ポリアクリル酸ナトリウム~90日間反復投与毒性試験) 1式	6	随意契約	
6	(株)新日本科学	指定添加物等の安~試験(硫酸アンモニウム外4物質に関する染色体異常試験) 1式	6	随意契約	
7	(株)ボゾリサーチセンター	指定添加物等の安全性~試験(塩化カリウム外5物質に関する染色体異常試験) 1式	5	随意契約	
8	(財)日本冷凍食品検査協会	酵素の微生物限度試験法の検討 1式	5	随意契約	
9	(株)ボゾリサーチセンター	指定添加物等の~試験(シス-3-ヘキセノール外5物質~染色体異常試験) 1式	5	随意契約	
10	(財)食品薬品安全センター-秦野研究所	指定添加物等の安全性に関する試験(トランスジェニックマウス突然変異試験) 1式	4	随意契約	

C. 委員等旅費・謝金

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	委員A	食品用器具・容器包装おもちゃ等試験法検討会出席旅費	0.03		
2	委員A	食品用器具・容器包装おもちゃ等試験法検討会出席旅費	0.03		
3	委員B	食品用器具・容器包装おもちゃ等試験法検討会出席旅費	0.03		
4	委員B	食品用器具・容器包装おもちゃ等試験法検討会出席旅費	0.03		
5	委員C	第9版食品添加物公定書作成検討会出席旅費	0.02		
6	委員D	食品用器具・容器包装おもちゃ等試験法検討会出席旅費	0.02		
7	委員C	第9版食品添加物公定書作成検討会出席旅費	0.02		
8	委員D	食品用器具・容器包装おもちゃ等試験法検討会出席旅費	0.02		
9	委員E	第9版食品添加物公定書作成検討会作業部会出席謝金	0.01		
10	委員F	第9版食品添加物公定書作成検討会作業部会出席謝金	0.01		

## D. 事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京電力(株)	電気料	49	随意契約	
2	東京ガス(株)	ガス料	12	随意契約	
3	田口工業(株)	食品添加物部第2室流し等改修役務	2	随意契約	
4	日本無機(株)	AfU-1 HEPAフィルタ	0.9	随意契約	
5	(株)クリタス	活性炭脱臭塔修繕役務	0.8	随意契約	
6	日本無機(株)	HEPAフィルタ	0.8	随意契約	
7	日本無機(株)	動物舎関係プレフィルタ	0.7	随意契約	
8	(株)クリタス	再利用水減菌ポンプ整備役務	0.6	随意契約	
9	田口工業(株)	洗浄室雨樋詰まり清掃他役務	0.6	随意契約	
10	金剛薬品(株)	パントテン酸ナトリウム16Kg	0.5	随意契約	